

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・園目標は職員全員が参加して作り上げ、クラス目標は園目標が達成できるように担任だけでなく関わる職員も参加し作成した。 ・今年度は地域にも力を入れ計画を立てた。(未就園児/小学校など)			
<b>【課題・対策】</b> ・進級説明会や懇談会などで全体的な計画の一部は伝達しているが、保護者の理解がよりされるよう次年度は伝え方や場面を工夫する必要があると感じた。				
子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・新入園児はもちろん、進級児も個々の発達に合わせた配慮をすることができた。特に新入園児が慣れるまでは、保護者と共有しながらその子に合った援助を心掛けた。 ・新入園児(乳児)の給食開始時は、まず保護者に介助していただきながら喫食状況やきざみ、咀嚼などを確認し保護者と共有するようにしている。				
<b>【課題・対策】</b> ・4月当初は新入園児に目がいきがちになってしまうため、進級児が不安にならないよう保育者同士が声を掛け合いフォローしていく必要がある。また個で十分に甘えられる環境、時間も作っていきたい。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・周囲が気になってしまう場合には、パーティションを活用し落ち着いた環境設定をする。 ・散歩時で部屋を空ける際は換気を心掛け空気の入替えを行う。			
<b>【課題・対策】</b> ・開園から10年を超えてから設備が痛みはじめるので、計画的に修繕を行っているが、計画外での不備が見つかった際にはできるだけ早めに対応していけるようにしたい。また、修繕は小さなうちに修理することで大規模修繕にならず済むので定期的な巡回をしていきたい。 ・近年の暑さは夏になる前から配慮が必要で、真夏の時期が長くなっているため快適な環境設定には注意をしていく。				
一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0~2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコドモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・各家庭状況も考慮し、子どもの睡眠時間や疲れ具合など体力に応じて対応していきながら、生活のリズムが整うように工夫している。			
<b>【課題・対策】</b> ・できるだけ個別でゆったりと関わりを持つことが望ましいが、対応する園児が多い場合はなかなか難しさを感じている。クラスだけでなく園全体での保育者同士の連携がより大切と感じる。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・配慮の必要な園児、家庭に関しては全職員で情報共有を行っている。また臨床心理士の先生による専門的な巡回やアドバイスを定期的に行うことで特性の理解や対応の仕方を学んでいる。  <b>【課題・対策】</b> ・家庭での様子が見えにくい場合は、家庭での困り感を聞くことで共有し園での対応を柔軟に行うようにする。また療育など専門機関に繋がれるようにする際は、保護者の気持ちに寄り添いつつタイミングを図っていく。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・保護者や近隣からの要望や苦情は、早急に対応することで大きな苦情にならないように務めた。また全職員で情報共有していく。  <b>【課題・対策】</b> ・保護者には苦情のシステムなど説明しているが、なかなか言いづらい保護者もいると思うので気軽に話ができるように今後も取り組んでいきたい。送迎時には園児のちょっとしたエピソードを話すなど会話しやすい工夫をしていく。			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	B	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	B	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	B	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・定期的に廃材を使ってクラスを超えた共同制作を行い、子どもの意見で遊びを発展させていった。 ・自クラス以外のクラスに行かせてもらい、いつもとは違う玩具を使って遊びこむなど工夫した。  <b>【課題・対策】</b> ・朝夕の過ごし方は玩具や遊びがマンネリ化してしまうこともあるので、子どもが主体的に遊びを見つけられるように援助していきたい。 ・子ども主体の遊びは継続してできるよう保育者のサポートの仕方、見守り方など課題があると感じた。 ・年齢(月齢)に成長に合わせて部屋の玩具を移動させ貸し借りできるように更に工夫できると良い。 ・コーナー保育の充実度は次年度の課題となる。			
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声をかけている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<b>【地域・園に応じた独自の取り組み】</b> ・年長クラスは毎日 バイク給食を行うことで、自分の食べられる量を知り適量を盛り付けたり、盛った量を食べることで完食の喜びを感じることができている。また食べ物を大事にするようになり、炊飯器からご飯の盛り付け方も上手になった。  <b>【課題・対策】</b> ・食育は定期的に行ってはいるが、マンネリ気味な内容が多い。子どもと一緒にやりたい食育を考え新しいものも増やしていきたい。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症発生の場合は、保護者に配信と園内掲示を行っている。また感染者が増えた場合には、乳児クラス、幼児クラスと明記することで感染フロアの情報提供をしている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内で感染者が発生した場合に、未感染園児が登園しその後発症し園内で感染拡大してしまった。家庭内感染が一番リスクが高いので感染が増えてきた際には休むなど協力を仰ぐことが望ましい、と園医から助言をもらうが、家庭ごとに事情があり難しかった。今回はあつという間に全クラスに拡大してしまった。消毒、換気の徹底だけでは防げないので今後の課題となった。</li> </ul>			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症流行の有無に関わらず、掃除、消毒などはこまめに行っている。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除は日々行う以外に汚れなど気づいた際に行うなど常に清潔を保つようにしている。</li> </ul>			
	<p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除は日々行う以外に汚れなど気づいた際に行うなど常に清潔を保つようにしている。</li> </ul>			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	B	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年消防署職員による救命救急研修を行い、心肺蘇生や誤嚥対応など実技を行いながら学んでいる。</li> <li>・保護者に参加してもらう引き取り訓練も行うことで災害を意識した訓練ができています。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の避難訓練は様々な時間帯を想定して行っているが、実際にはその場にいる職員の判断に頼ることが起きるので、数多くシミュレーションしておくことが大切と感じている。</li> <li>・不審者訓練も行っているが、昨今区内で傷害事件など複数起きており、実際に近隣で起きた場合の対応なども判断できるようにしたい。また不審者と思われる者がいた(園内に入っている)場合、躊躇なく声をかけ早めの対処を全職員ができるようにしていきたい。</li> </ul>			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	B	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っで決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ替えや着替えの際はロールカーテンを閉めたり仕切りをし、プライバシー保護を徹底している。</li> <li>・不適切保育が起きないように定期的に園内研修を行っている。今年度は他のスタッフの良いところを見つけ発表することで、お互いの保育を見直す良い機会になった。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで当たり前に行っている保育が今の時代に合っているかなど、常に振り返ることやあれっ？と思ったことはみんなで話し合える環境を今後も作っていきたい。</li> </ul>			
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋には通常の保育参観、1月にはPGT参観を実施した。また行事の見直しも行き子どもの負担にならないよう乳児クラスは普段の保育の様子を動画に撮って観ていただくなど工夫をした。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、発表会開催に関しては気候を配慮し季節の見直しや年齢によっては別の形で保護者に披露するイベントに変更した。保護者のご理解はいただけたが、今までやっていたことを変更することは次年度も職員同士で話し合い作り上げていきたい。</li> </ul>			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようにしている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援のイベントを行い、園の玩具を使って親子でゆったり遊べるような場の提供をした。その中で子育ての不安や悩みを聞くこともできた。</li> <li>・見学会の際には子育ての悩み、保育園入園に向けての質問や相談に対応することでおめ一時を持ってもらえるようにした。</li> </ul>			
	<p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に足を運びやすいような環境づくりを整えてはいるが、通りすがりの方にも保育園を知ってもらえるような工夫をしていきたい。</li> </ul>			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応している。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画をたて近隣の未就園児イベントを開催、パレットの特色を知ってもらうため、パレット学習タイム体験や離乳食試食会を開催した。</li> <li>・見学会はできるだけ日数を儲け、丁寧な説明と対応をした。特にいらっしゃるお子さんの名前と月齢を覚えておき、名前を呼んで声をかけるなどウエルカム感を出すように務めた。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園申し込み時期のメ切(11月)以降は園見学がぐっと減るので、次年度はインスタグラムを活用し広く園を知ってもらう工夫をしていく。</li> </ul>			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	B	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の学生からボランティア希望の問い合わせがあり、受け入れを行うことができた。</li> </ul>			
	<p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区や市のボランティア活動の受け入れに積極的にエントリーしているが日数が少ないので、年間を通して受け入れられると更に良いと感じる。</li> <li>・実習生は受け入れ体制はできているが近年全く募集がない。</li> </ul>			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用して、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にキャリアアップ研修に参加し研修の充実を図った。</li> <li>・一緒に働いている他の職員の良いところ探しを行い、お互い認める研修を行った。それにより相手の意図を知ったり学びの機会になった。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修を受けられるまでの申し込み～抽選、研修の時間を作ることが課題。(抽選になかなか当たらないので受けられない)</li> </ul>			
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の振り返りの話し合いはもちろんだが、クラス会議を定期的に行うことで自身の振り返りやクラス運営をしていく上での学びになった。また、週mtgにて自クラスの運営内容を話すことで他クラスの様子が分かり良かった。</li> </ul> <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の在職年数が年々上がりひとり一人のキャリアはアップしているが、行事など質の向上に向け自ら提案をていけるようにしたい。</li> </ul>			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権やプライバシーに関する研修を行うことで法順守、倫理を再確認した。</li> </ul>			
	<p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に合わせ研修などアップデートを心掛ける必要があると感じた。</li> </ul>			

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月20日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対する反省・課題 (事業報告書へ)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も地域に開かれた園を目指しイベントなどを行うことができた。何度も園に足を運んでくださる方もおり地域に根ざしてきたように感じる。</li> <li>・職員の定着率は今年も上がり、仲間同士でよりコミュニケーションを取りたいと意見が出た。仲間の良いところ探しを行い、それぞれが認める良い機会が作れた。</li> <li>・近年毎年夏の季節が長くなり猛暑が続くことを考慮し、園行事(夏の行事)の見直しをしていきたい。</li> </ul>		